

アメダス東近江観測所が蒲生東小学校の校地内にあります。

令和2年8月20日、東近江市が全国1位となる最高気温を記録したことが、新聞等で伝えられました。気象庁は、日本国内約1,300か所に設置されている地域気象観測所(通称アメダス観測所)で気象観測を行っています。20日は、東近江に設置されているアメダス観測所がその日の最高気温を記録したということです。

その東近江市のアメダス観測所が蒲生東小学校の校地内、学童保育所の裏側にあることを知っておられますか。新聞で紹介された日には、何人かが見学(確認)に来られていました。昭和50年より観測が始まっていますので、45年前から、この地で、降水量、気温、風向、風速、日照時間を観測し続けています。



東近江 **全国1位** 39.2度 滋賀県内観測史上最高

真夏の日差しが照りつけた20日、東近江市でこの日の全国1位となる最高気温39.2度を記録した。滋賀県内で観測が始まって以来、最高を更新した。市内では、親子がアイスクリームを食べたり川辺で遊んだりして猛烈な暑さをしのいだ。

彦根地方气象台によると、近畿地方は高気圧に覆われ、南の風が鈴鹿山脈を越えてフェーン現象を起こしたのが原因という。甲賀市土山町では8月観測史上最高の37.0度、大津市37.7度、彦根市36.1度、米原市35.3度で、それぞれ今年一番の暑さとなった。



8月21日 京都新聞より